

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：東山地区	開催日時：令和7年11月10日（月）18時30分～20時30分
担当班：第5班（出席議員）吉田恵三、柗屋奈津子、奥脇康夫、内海基、小倉孝太郎	
開催場所：東公民館	
参加人数：男性 6名、女性 4名、合計 10名	
<p>会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など</p> <p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 9月定例会議について 議会だより12ページ 請願第7号 米の低米価政策を改め、米の安定供給政策の確立を関係機関に働きかける請願の内容について、産業経済委員会では不採択になり、本会議で賛成多数で採決になった理由に関し質問があった。</p> <p>② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 人口減少に対する取組についての意見があった。結婚支援事業や出生率の向上、経済の活性化に向けた取組、県立病院跡地利活用事業への期待など、市は今後どのような取組により厳しい時代を乗り切るのか市議会で議論してほしいという意見があった。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ 安心して暮らせるまちづくり</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 地域や町内会運営において役員が高齢化し、働く世代が地域運営や地域活動、災害時の安全対策等への関わりが薄くなってきているため。</p> <p>③ 主な地域課題 背炙山への風力発電建設、熊対策、除排雪などについて多くの意見があった。</p>	

会津若松市議会議員 様
令和7年11月28日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。
予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎
意見交換会第5班 代表者 吉田 恵三

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
議会だより12ページの請願第7号 米の低米価政策を改め、米の安定供給政策の確立を関係機関に働きかける請願の内容について、産業経済委員会では不採択になり、本会議で賛成多数で採択になったが、委員会では不採択になった理由を示してほしい。	委員会において、国は低米価政策を進めてきたわけではなく、価格の安定に努めてきたところであり、一定の所得補償制度を講じていることから反対の意見が出され、その一方で、国は今後米の増産を推進すること、今後は食料自給率の向上や地産地消の推進が重要であり自然災害に大きな影響を受ける農業に対する一定の所得補償が不可欠であるという意見が出され、意見が交わされたところである。委員会の採決では不採択とされたが、全議員による本会議においては、賛成、反対討論がなされ、採決の結果、賛成多数となり採択されたところである。	●	①	議会活動
国勢調査は、調査範囲を町内会ごとに割り振りしてほしい。知らない家を訪問するのはとてもやりにくい。もしくは警察官に回っていただいた方が、お互いに安心だと思う。	ご意見として伺う。	○	②	行政
市役所は縦割りで、1969年に千葉県松戸市が「すぐやる課」を作り、全国ニュースに取り上げられて一世を風靡したことがある。そこから50年以上も経つのに、行政の縦割り解消は、一部に取組が見受けられるものの、スピード感が無い。そこに風穴を開けていただけるのは議員の皆さんしかいないと思う。	松戸市の「すぐやる課」については承知している。市役所において横串の連携が、以前と比較するとかなり進んできている印象がある。しかし、横串の連携は、市民の皆様は、なかなか伝わらない側面があると感じている。また、市は、国や県との関わりの中で、どうしても縦割りの組織の中で、行わざるを得ない側面を持ち合わせている。可能な限り、必要となる横の連携等が図られることを期待したい。	○	①	行政

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
人口減少、少子化対策として、新たな産業を起こすか、出生率を上げる取組が必要だ。今独身でいる人たちを結婚させる、カップリングさせる後押しをしてほしい。また、会津がどう生き残るのかは、やはり議員の皆さんで真剣に議論していただきたい。	結婚に関しては、人それぞれの考え方・意思がある。現在市では、結婚支援事業に取り組んでおり、所得制限があるものの、結婚する方に対する新たな支援制度も創設している。また、空き家に移住される方に対する支援、首都圏等で5年以上働いていた方が移住する場合の支援など支援メニューも増えている。移住者は着実に増えているが本市の人口は減っている現状にある。今のご意見も踏まえながら、一層、人口減少対策に取り組んでいく。	○	①	行政
県立病院跡地に「道の駅」の建設を切望する。今、道の駅はものすごいパワーがある。生産者、消費者、みんなの活性化につながる。喜多方市にも子どもの施設はあるし、子どもの施設はお金を生まないのではないかな。	近隣の道の駅では多くの方が利用しており、市内に道の駅を設置する計画は無い。現在、県立病院跡地に建設予定である子育て支援・屋内施設は、これまでの市民要望等を踏まえ計画されたものである。	○	①	まちづくり
県立病院跡地は、子どもの施設だけではなく、高齢者も運動でき楽しめる施設、子どもと高齢者が交流できる場所にしてほしい。	子育て支援施設と合わせて、多世代が交流、利用できるエリアも創設されるものと聞いている。	○	①	まちづくり
県立病院跡地を駐車場として利用する際、どのようなイベントを開催しているか、入口で分かるようにしてほしい。通りすがりの人もイベント情報が分かれば、集客にもつながると思う。	ご意見として伺う。	○	②	まちづくり
会津若松は寂しいところになった。デパートも映画館もない。若い人も高齢者も遊ぶところがない。当然若い人は残りたくない。市民の声を聞いて反映して、会津若松をもっと活性化してほしい。会津を良くするために頑張してほしい。	映画館の誘致に関しては、これまで経済団体や市民から要望が出されたこともあった。ご意見として受け止める。	○	②	地域経済

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
市議員の中の会派を解消するべきではないか。政党のいわゆる派閥みたいに、議員個人が、会派の決定に従っている現状にあるのではないか。議員個人ごとに話を聞いてみると、様々な意見や考えがあるものの、最後には会派が決めたことだから、となっている現状があるのではないか。それでは会津若松市は発展できない。調査研究や勉強会などは、会派単位でなく、もっと全体的な勉強会ができる組織を作してほしい。	市議会に対し、会派についてこうしたご意見があったと受け止める。	●	①	議会活動
「市民との意見交換会」というタイトルは、これは「議員との意見交換会」だと思う。議員が「我々は市民の意見を聞いてやっているんだ」というタイトルになっていると思う。長年使ってるから変えにくいかもしれないが、ちょっと考えていただければと思う。	市民との意見交換会という名称は、主催が市議会であるため、主催者側からすると、市民の皆様との意見交換会となると考える。決して、聞いてやっているということではなく、冒頭挨拶した通り、市民の皆さんからのご意見等を真摯に受け止め、課題等を整理し、市の事務事業の審査や、協議、議論等の際の参考とすることに、重きを置いている。市議会からの市に対する提言等の起点ともなっている。そういった点をご理解いただきたい。	●	①	意見交換会
市役所の新庁舎が完成し市民としては大変喜ばしいことだと思う。都会風のきれいな庁舎で仕事ができると、物事も進展すると思う。頑張っていると思う。	そうしたお言葉に感謝申し上げる。	○	①	行政

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
背炙山に建設が予定されている風力発電設備について意見交換がしたい。私は建設をやめてほしい。反対署名の数は8,000筆以上になった。これから議会と市長に提出する予定である。市長には英断を下していただくようお願いしたいと思う。そうすれば安心して暮らせる。	ご意見として伺う。	○	②		都市計画
風力発電計画について、令和6年3月に経済産業大臣と福島県知事から、開発業者に対して勧告書が出された。内容は、今までの環境評価のやり方について市民との合意形成を図る説明会をしっかりと開催して進めることとあるが、いつ、会津若松市で開発業者が説明してくれるのか、ずっと疑問に思いながら色々自分なりに調査した。実際に、ある開発業者は、湊町の原地区だけで5月に1回、11月までに2回、風力発電についての説明会を開催している。この東山地区においては一切説明会が開催されていない。これは、経済産業大臣と福島県知事に言われている勧告書に沿った開発計画ではないのではないか。非常に不安である。湊町も原地区で、100人の方に説明したのみである。再生可能エネルギーは大事である。しかし、東山が開発されれば、土砂崩れ、景観が悪くなったり、騒音が発生するなど、様々な問題が発生する可能性があると思う。知らない住民もまだたくさんいる。大きな会場を借りて、多くの市民に分かっていただけるようなアクションを是非議員の方々に取っていただきたい。	ご意見として伺う。	○	②		都市計画

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
湊町原地区の説明会で、開発業者が住民に対し、これからの開発スケジュール、開発に対しての問題点など様々書いてある資料を渡しているそうだ。しかし、その資料は他に見せてはいけなと言われたようだ。それもおかしいと思う。どんな風に開発されるのかその資料を私も見たい。そういうことをする開発業者に対しては、不安感を持つ。私はその資料を入手したが、10月31日に開催された資料によると、あと2回、原地区で説明会をするようだ。その説明会で、何ら申し立てもなく進めば、令和8年9月か10月に評価書を国に提出する予定のようだ。これは開発業者の意向としては、湊町原地区だけで住民説明会を終わらせようとしているように思える。そういうことがこっそり進められていることが、本当にそれでいいのか。議員の方にも現状を知り、理解してもらえればと思う。	ご意見として伺う。	○	②		都市計画
風力発電の件について、開発業者の説明は、計画を進めている会社ごとではなく、開発業者が一同に会して説明会を開催してほしい。環境影響評価も全体としてやるべきだと思う。市民にとっては、どこが開発するのか、総量はどのくらいで、どのような影響があるのか知りたい。	ご意見として伺う。	○	②		都市計画

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
今の意見であるが、環境影響評価は、開発業者が進める時期によって進み方が違う。1～4段階とあり、最初にやっている開発業者はもう最終段階だ。全部の手続きに8年ぐらいかかる。したがって開発業者によって説明内容も違うし、温度差もある。だから、一緒に説明会を開催することは開発業者としては難しいことだと思う。ただ、最初にやっている開発業者が進んでしまえば、次にやる業者はダメだとは言えないはず。私は、再生可能エネルギーは反対ではない。ただ、建設場所と、そのやり方を問題視している。開発をどこの会社か分からないような会社がやって、問題が生じ、その後始末を会津若松市が受け負うような状況が作り出されれば非常に困るのではないか。そういう部分をものすごく心配している。	ご意見として伺う。	○	②		都市計画
私は風力発電に反対だ。会津の自然は壊したくない。山に食べ物が無いから、熊が降りてくる。風力発電を山の上の方に作ったら、もっと熊が降りてくるのではないか。	ご意見として伺う。	○	②		鳥獣対策

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
毎日、熊に怯えているような状態だ。熊が木に登り逃げなかったため、市の農林課と猟友会で愛宕神社の裏側に一つだけ箱罾を設置した。今回は、対応が早かった。今後同様なことがあった場合に備えて、市の対応をお尋ねしたい。	令和6年度と比較すると、熊の出没件数は多くなっている。市は、昨年から専門員を配置し、組織体制の強化を図った。現在は、平日、休日も熊、イノシシなどの目撃情報・通報があれば、市から市民へメール等で発信し、警察や猟友会と連携を図りながら対応している。罾の設置等については、市の農林課に相談してほしい。加えて個人または団体等で対応する際、補助対象となる場合がある。中山間地等については、山と集落の境目のところの草刈り払い等をお願いしつつ、集落において電気柵等の侵入防護柵の設置に対して支援をしている。また、爆竹を鳴らしたり、パトロール、罾の設置・貸出しも個別に行って対応している。現在は、野外でのイベント等が若干中止になっているようだ。	○	①		鳥獣対策
10月29日に會津稽古堂で市の防災会議があり、地域防災計画が新しくなるので、その素案の検討があったが熊対策が記載されていないように思う。地域防災計画に熊対策を反映してほしい。	熊対策等は、鳥獣被害対策事業等の枠の中で対応しており、所管は農政部となっている。	○	①		鳥獣対策
河東町にある会津総合射撃場は、若い方たちも集まって訓練しているのか。	猟友会や猟銃免許所持者等の中には、比較的若い方もおられるが平日等は仕事もあり、訓練等の時間確保には課題があると聞いている。	○	①		鳥獣対策
NHKの討論番組では、熊対策として、やぶの伐採や草刈りも重要だが、熊の個体数が多くなりすぎているので減らす必要がある、というのが結論だったように思う。行政は、公務員と同様の給料を支払い、猟銃免許を持って対応できる人を育てる必要があると思う。	ご意見として伺う。	○	②		鳥獣対策

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
11月6日、天寧に市の農林課が罾を設置してくれた。猟友会の方が9人来た。11月13日には、設置した罾を見ながら、県の職員と市の農林課の方から説明を受ける予定である。専門的な対策等に感謝する。	鳥獣被害の対策等で、新たに市内各地にセンサーカメラを設置し、熊の動き等のデータを取る取組も始めている。また、会津大学の研究チームが追払い装置等の開発に取り組んでいるという説明を受けた。以上のような取組や皆さんの意見を受けて、皆さんが安心して暮らせるように、産業経済委員会や第3分科会でも議論を深めていく。市農林課から話を聞いたが、愛宕神社と御宿東鳳の近くに罾を設置したとのことであった。東山地区は、奥山に柿の木がたくさんあり、電気柵の間をすり抜けて入ってくるそうだ。どの地区においても現地調査を行い、罾の数も増やしていくそうである。必要があれば、警察のパトロールも要請している。消防団のパトロールも必要になってくるかもしれない。学校の近くに出れば教育委員会と連携し、介護施設の近くに出れば健康福祉部と連携する。今は、農林課だけで対応しているが、今後は全庁的にしっかりと対応していきたいということであった。	○	①		鳥獣対策
住民も熊対策をして、注意しなくてはいけない。私は自衛隊が熊対策をするのは反対だ。警察官が行うべきだと思う。猟友会（一般人）ではあまりにも責任が重すぎる。謝礼金も少ない。警察官の対応について、議会でも検討してもらいたい。	熊等の鳥獣被害対策に関して地区において注意を払う取組は重要である。今後、市街地においても市長の判断のもと、猟友会等による猟銃の使用が可能となる。他の自治体では、捕獲した熊にGPSを付けて放すことによってその動きを調査している。12月定例会議において4人の議員が、熊対策等について一般質問を行う予定だ。猟友会担い手の確保、人材育成等、今日のご意見を12月定例会議の一般質問でしっかりと確認する。今日のご意見は、大変参考になった。何かあれば市の農林課に相談してほしい。	○	①		鳥獣対策

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
山の木が伸びジャングルとなっているところがある。森林組合等で伐採を早く実施するべきではないかと思う。熊が出るから山は危ないから入るなどとも言われているが、人の手が入らないとますます熊がこちら側に入ってきて、苦しむことになるのではないかと。私は森林組合員ではないので、どうすればいいかわからない。	国有林、民有林等により対応が異なると思われる。ご意見として伺う。	○	②		鳥獣対策
お知らせ（東山地区の区長には連絡済み）11月18日（月）10～11時、熊についての最新の状況の説明と意見交換をする予定になっている。出席者は市の農林課、会津大学、専門家数名、東山地区の区長、各種団体であり、主催は東山人と地域をつなぐ会（四半期ごと開催している連絡会）である。	お知らせに感謝する。	○	①		鳥獣対策
通学路のそばを流れる川（戸ノ口堰）の木や草が伸び、見通しが悪くなり大変危険なので伐採してほしい。2年前に伐採したがまた伸びてきた。2年に1回、定期的に伐採してほしい。	後日調査し、事後報告する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 （事後報告書P13に記載）	環境

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
昨シーズンは豪雪だったが、除雪をもう少し丁寧にやってもらいたい。	令和6年度の除雪は、東山地区だけではなく会津若松全体で車が通れない状況が続いた。市民の皆様にご迷惑をおかけしたと考えている。市では検証を進めており、9月定例会議で補正予算を計上し、重機の購入や随時、雪が溜まったところを排雪する山取班を4班作るなど、体制を強化している。昨シーズンは朝の6時ぐらいから雪が降り、通勤の時間帯に踏み固められ、重機が間に合わないうちに、雪が踏み固められてしまったという状況があった。今シーズンは、その対策として、市民の皆さんにご迷惑をかけてしまうことはあるかもしれないが、これまでは10cm降らないと除雪をやらないという条件があったが、今後は予報もかなり正確となってきたため、大雪だと分かった時は、初動を早くするようである。除雪体制は、昨シーズンのようなことはないよう今しっかりと整えているので、見守っていただければと思う。	○	①		雪害対策
少しは安心した。除雪はみんなが寝ている時間に作業しており、大変だと思う。しかし、1時半か2時頃除雪しても、通勤、通学時には雪がどっさり積り、踏み固められてしまう。もう少し良い除雪方法はないのかと思う。	除雪に関わる予算は例年で当初に約7億2,000万円を計上するものの、令和6年度の除雪費用は約24億円を要しており、例年の4倍以上となっている。こういった除雪体制を整えていくことがベストなのか、しっかり建設委員会の中でも今協議しているので見守っていただければと思う。	○	①		雪害対策

○ 地区別テーマでの意見交換について → 安心して暮らせるまちづくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
山林の伐採について、自治体によっては木1本につきいくらかの助成金があると聞いているが、会津若松市の対応について教えてほしい。	市は、ゼロカーボンシティ宣言を行っており、森林環境を保全することにより、CO2をはじめとした温室効果ガスを吸収するという大きな役割も果たしている。現在、森林環境税が課税されているが、それを財源に市町村に森林環境譲与税が交付され、現在民有林所有者に、今後も維持管理ができるかどうか調査している。維持管理できないという所有者の方に代わって、市町村が管理を行うことになる。市はそれらを森林組合等に委託をする方向になると考えている。市では現在、県産材を使用し木製品を導入している民間保育園等に対して補助金を交付したり、間伐材等を排出し山から原木市場・製材所、チップ工場まで運搬する経費の一部を支援している。間伐材を建築用材、燃料チップに有効活用が図れる取組は重要であると考えている。	○	①		林業
熊の餌になる柿、栗等の伐採について、助成金を出せば、熊対策にもなると思う。	ご意見として伺う。	○	②		鳥獣対策

市民との意見交換会・事後処理報告書

東山地区

件名	処理（対応）内容	備考
1. 川（戸ノ口堰）の木や草の伐採について（P10）	<p>【市民からの要望・質問】 通学路のそばを流れる川（戸ノ口堰）の木や草が伸び、見通しが悪くなり大変危険なので伐採してほしい。2年前に伐採したがまた伸びてきた。2年に1回、定期的に伐採してほしい。</p> <p>【事後処理結果】 11月17日に現地を確認し、11月19日に道路課に伺い、11月21日に回答を得た。 当該水路は、戸ノ口堰土地改良区において維持管理が行われているが、戸ノ口堰土地改良区とともに現地を確認したところ、雑木が繁茂し、見通しが悪いことが確認された。そのため、来春、戸ノ口堰土地改良区において伐採することとなった、とのこと。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和7年11月28日

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎
意見交換会第5班 代表者 吉田 恵三